

遠隔医用画像システム「MIMAS」

1998 年（平成 10）に、高精細・高解像度な医用画像を高速表示できる画像データベース・ビューアシステム「MIMAS」を開発した。独自の符号化システムによって、各種のデータ形式を MIMAS 方式に変換する。3 G バイトのハードディスクに約 1,000 枚の画像が保存でき、X 線、CT(Computed Tomography: コンピュータ断層撮影)、MR(Magnetic Resonance: 磁気共鳴)などの撮影結果の読影や遠隔地の専門医による読影、さらには時間や場所に拘束されない医師同士のコミュニケーションが可能になる。

出典：KDD 社史